

第48回中国高等学校バスケットボール選手権大会山口県予選会

H16(2004)年4月17日(土)~19日(月) 岩国市総合体育館・高水高校 他

男子準決勝

	22 - 6		
岩国工	72	50	下松工
	16 - 19		
	20 - 13		
	14 - 12		

岩国工業 #4佐原 #5宮本 #7寺家村 #8田村 #17柿本
下松工業 #4藤田 #5佐川 #6椎木 #8井堀 #10武田

岩国工、父幸正、下松工、子健吾の親子対決の始まりである。両者マンツーマン。共にキャプテンの得点が決まる。岩国工はスクリーンから得点を生むのに対し、下松工は動いて攻めるが、シュートが入らず1Q22-6で終了。2Q下松工はブレイクで得点を重ねる。互角の戦いが続き、38-25で下松工盛り返して終わる。3Q、下松工2-2-1のプレスから3-2のゾーンで始まる。両者粘り強いOFF、DEFを繰り返す。残り3分50-35。下松工はゾーンのスタイルを変え、流れを変えようとするがうまくいかず、58-38で終了。4Q、取られたら取り返し、守ったら守り返す展開が続く。残り5分、岩国工メンバーを代え、そのまま終了。父の勝利で決勝進出を決めた。(主審:多賀谷 豊 副審:中村秀昭)(文責:枝折康孝)

男子準決勝

	12 - 24		
山口	53	82	豊浦
	16 - 15		
	9 - 26		
	16 - 17		

山口 #4飯田 #7細坂 #10安永 #16有光 #17丸岩
豊浦 #4野口 #5矢野 #6高山 #7藤村 #9田中

両チームとも激しいオールコートマンツーマンDEFでスタート。豊浦は序盤持ち前の速攻、速い展開からの#4、#7のミドルシュート、効果的にインサイドを使いながらのOFFでリズムをつかむ。山口は#7の3Pで応戦するが豊浦の激しいディナイDEFで思うようにボールが展開できず24-12で第1Q終了。2Q山口はハイポスト#10、#17を中心にOFFを組み立てる。さらに#7の1on1#17のポストプレーで得点を狙うがシュートが思うように決まらない。両チームともDEF、リバウンドで集中力を見せ、得点が伸び悩む。残り2分#8の連続3Pで流れは豊浦へ、一時16点差まで突き放すが山口は#10#14のインサイドで盛り返し39-28で前半終了。後半、豊浦は#9のインサイドにボールを集め、そこから#4のドライブインや外角のシュートを確実に決め、じわじわ得点差を広げる。山口は豊浦の激しいDEFの前にターンオーバーを連続しシュートまでいけない苦しい展開。65-37で3Q終了。4Qも流れは変わらず豊浦ペース。豊浦はメンバーチェンジをしながらのゲーム運び。山口もメンバーを変え、一矢を報いようとするが得点差は縮まらず82-53で試合終了。両チームとも試合の要所で一年生が活躍し、インターハイ予選にむけて期待の持てるゲーム内容であった。(主審:弘中 勤 副審:高部貴透)

男子3位決定戦

	14 - 14		
下松工	49	42	山口
	14 - 5		
	11 - 8		
	10 - 15		

下松工業 #4藤田 #5佐川 #6椎木 #8井堀 #10武田
山口 #4飯田 #7細坂 #10安永 #16有光 #17丸岩

両チームマンツーマンDFで試合開始。下松工は#6椎木のインサイド、#10武田のドライブを中心に攻撃をしかける。対する山口は#17丸岩のインサイドを攻撃の起点にする。1Qはお互い一步も譲らず14対14で終了。2Qに入り、下松工はオフェンスリバウンドを頑張り、得点を重ねていく。一方山口は、相手のDFプレッシャーの前にミスを連発し流れをつかめない。28対19と下松工9点リードで前半終了。

後半立ち上がり、両チームDFを頑張り、一進一退の攻防が続くが、4Qに入り山口のOFが爆発する。#17丸岩のインサイド、#7スリー等の連続得点で、41対39と2点差までつめよる。その後残り2分で45対42、山口の逆転もあり得るかと思われたが、ルーズボール争いで山口痛恨のアンスポーツマンライクファウル。下松工はボーナスシュートをきちんと決め、結局49対42で下松工が勝利した。(主審:松本隆志 副審:高木直樹)

男子決勝

	20 - 12		
岩国工	65	67	豊浦
	16 - 21		
	19 - 14		
	10 - 20		

岩国工業 #4佐原 #5宮本 #7寺家村 #8田村 #17柿本
豊浦 #4野口 #5矢野 #6高山 #7藤村 #9田中

両者マンツーマンDefでスタート。開始から5分間、お互い思うように得点がとれず6-4で岩国工リード。ここから岩国工は#4佐原#5宮本の3P#17柿本の1対1で得点を重ねる。一方の豊浦は#9田中以外のシュートが入らない。20-12の岩国工リードで1Q終了。2Q開始早々、豊浦#4野口#9田中の連続シュートで20-16と追い上げる。残り5分26-24と追いつかれたところで岩国工CTO。豊浦#7藤村の連続シュートで26-28と逆転すると、岩国工は3-2ゾーンDefで反撃開始。2Q36-33岩国工リードで終了。

3Qも岩国工がペースをつかみ突き放しにかかるが、豊浦も粘り何とかついていくが55-47岩国工リードで終了。4Q開始直後岩国工#8田村が豊浦のセンター#9田中を良く押さえていたが、5ファウルで退場。そこからゴール下で豊浦#9田中が得点を重ね58-55と豊浦が追い上げる。残り6分岩国工CTOを取るが流れは変わらず岩国工はDefを再びゾーンに変えるが豊浦#9田中へのアーウープが決まり61-62と豊浦が逆転する。残り3分を切って豊浦#4野口のフリースロー#6高山の3Pで61-67とリードを広げる。残り1分30秒を切って岩国工も#7寺家村#16井原のシュートで65-67と詰め寄るが豊浦が何とか逃げ切り優勝を飾った。(主審:有澤重行 副審:内田昭紀)

第48回中国高等学校バスケットボール選手権大会山口県予選会

H16(2004)年4月17日(土)~19日(月) 岩国市総合体育館・高水高校 他

女子準決勝

誠英	65	63	慶進
	18 - 20		
	18 - 9		
	10 - 15		
	19 - 19		

誠英 #4高崎 #5井上 #6山根 #7三玉 #12市川
慶進 #4田丸 #6山本 #10岩男 #12松本 #15中津

誠英はアウトコートマンツーマン、慶進はハーフマンツーマンディフェンス。誠英はフレアースクリーンからの#5、#12の3Pや逆ミスマッチをついて#12のドライブ。慶進はスペースをとって#4、#10、#12の1対1で得点し、互角の滑り出し。1Qを18 - 20と慶進リードで終了。2Qに入り、誠英はDEFを厳しくし、残り7分で27 - 20とリードを奪う。慶進は#15を#13に代え、DEFもゾーン。誠英は攻めあぐね、2Q終わって36 - 29と慶進何とか持ち直した。3Q、慶進は#15を入れ、DEFはゾーン。誠英、外から入らず、残り1分には#4が、たて続けにファールを3本犯し5ファールで退場。1年生ガード#15を投入。慶進はハーフからのゾーンプレスも加え、46 - 44として3Qを終える。4Q開始30秒、46 - 47とついに逆転。しかし、誠英は待望の3Pが連続で決まり、残り6分には56 - 51と誠英リード。慶進はマンツーマンに変え喰らいつく。残り5秒で65 - 63。慶進#4最後の3Pを放つが入らず、誠英が薄氷を踏む勝利を収めた。(主審:松本 理 副審:秋田秀雄)

女子準決勝

長府	49	63	徳山商業
	5 - 13		
	13 - 21		
	21 - 15		
	10 - 14		

長府 #4松本 #5前田 #6石田 #9有光 #15小柳
徳山商業 #4河村 #5末広 #8八木 #12小森 #13坂田

両チームマンツーマンDFで試合開始。長府はインサイドにボールが入らず苦しい展開。一方徳山商は速攻とドライブで流れを作ろうとする。1Qは5対13と徳山商が8点リードする。2Qに入り長府は#4松本のジャンプシュートで得点するが、点差は縮まらない。逆に徳山商は#4河村、#5末広のドライブ、スリーポイント等で着実に得点を重ね、18対34とリードを広げ前半終了。

後半に入り長府はDFを頑張る。積極的にプレッシャーをかけ、相手のドライブを封じにかかる。長府#7川口の連続スリーも決まり、3Q終了時には39対49と10点差につめよる。4Q途中には点差が5点まで縮まるが、逆転には至らない。徳山商は#5末広のドライブ等で流れを取り戻し、結局49対63で逃げ切った。(主審:奥野忠 副審:尾中優子)

女子3位決定戦

慶進	75	50	長府
	23 - 11		
	17 - 19		
	20 - 11		
	15 - 9		

慶進 #4田丸 #6山本 #10岩男 #12松本 #15中津
長府 #4松本 #5前田 #6石田 #9有光 #15小柳

両チームともマンツーマンDEFでスタート。序盤慶進がインサイド、カットインとリングに近いエリアでのショットを確実に決めリズムをつかむ。対する長府も#5#6のインサイド中心にOFFを組み立てるがシュートが入らず流れに乗れない。23 - 11で1Q終了。2Qに入り長府はポストの2on2でのOFFからチャンスを狙う。#5のポストプレー、リバウンドで得点を決め追いつく。慶進も外からのシュートはないものの#6のミドルシュート、リバウンドシュートで得点差を守る。40 - 30で前半終了。後半に入り、長府のインサイドに対し慶進も対応する。長府はハイポストから、コーナーへのパスでシュートを狙うが、思うようにシュートが入らない。慶進はポストに2人たった状態からのOFFで、ドライブインからチャンスメイクする。リングに近いエリアでのショットを確実に決めていく。慶進が点差を9点広げ60 - 41で3Q終了。4Q 慶進はDEFをゆるめることなく常にプレッシャーをかけ相手のミス誘う。ミスに乗じて速攻で一気に点差を広げにかかる。長府は選手全員に疲れが見えはじめ足が動かなくなり力尽きる。75 - 50で試合終了。体力、集中力で慶進の選手が勝ったゲームであった。(主審:川武 修 副審:網屋みちる)

女子決勝

誠英	90	60	徳山商業
	28 - 8		
	28 - 10		
	19 - 22		
	15 - 20		

誠英 #4高崎 #5井上 #6山根 #7三玉 #12市川
徳山商業 #4河村 #5末広 #8八木 #12小森 #13坂田

両者マンツーマンでスタート。誠英#4、徳山商#12のシュートで始まる。徳山商は誠英のディフェンスを攻めきれず得点が伸びない。残り2、徳山商タイムアウト。(19 - 6)タイムアウト後も、誠英はモーションオフENSEを展開し得点を重ねる。1Q、28 - 8。2Q、徳山商は、ファールが重なり、リズムに乗れない。誠英は徐々に点差を広げる。前半56 - 18。3Q、誠英はディナイディフェンスを徹底する。徳山商もディフェンスから速攻を中心に攻めるが、点差が縮まらない。75 - 40で終了。4Q、誠英は、一年生主体のメンバーに代えるが勢いはおさまらず誠英が90 - 60で勝利をものにした。(主審:春山良二 副審:勝原芳徳)